

## エースクラウン単語ランキング

### ◆ 語彙レベル表示にCEFRを導入

CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) は Common European Framework of Reference for Languages の略で、現在ヨーロッパだけでなく世界中に影響を持つ外国語能力の参照枠です。2001年に公開された原本では、言語使用者 (user) のレベルを、Aレベル (基礎レベルのユーザー)、Bレベル (自立したユーザー)、Cレベル (堪能なユーザー) の3つに分け、それぞれをA1, A2のように2段階ずつに分けた計6レベルの能力段階を設定。またことばのスキルに関しては、理解に関して「聞くこと (listening)」と「読むこと (reading)」, 産出に関して「話すこと:やりとり (spoken interaction)」, 「話すこと:発表 (spoken production)」, 「書くこと (writing)」に分かれています。

すべての能力記述はCAN-DOリストの形で提示され、「ことばを使って何ができるか」という新しいコミュニケーション能力の提案をしています。

### ◆ CEFR-J Wordlistに準拠



このCEFRを日本の英語教育に適用するために開発されたのがCEFR-J (研究開発責任者: 投野由紀夫) です。『エースクラウン英和辞典 第3版』では、このCEFR-J用に構築されたCEFR-J Wordlistに基づいたA1～B2までのランクを表示しています。以下にそのランクと語数を示します:

|                 |                 |          |
|-----------------|-----------------|----------|
| <b>A1</b> 1,074 | <b>B1</b> 2,135 |          |
| <b>A2</b> 1,246 | <b>B2</b> 2,314 | 計 6,769語 |

A1ランクまでの約1,000語は、小学校～中学校の英語のベースを作る語彙です。2020年実施の新学習指導要領では、小学校～中学1年生くらいまでにA1ランクの語彙や表現はほぼ出てきます。A2は中2～高1くらいまでが標準。B1の自立したユーザーのレベルになるには4,000語強が必要で、学習指導要領の高校英語の語彙が4,000から5,000語とされているので、B1が大学受験の標準レベルと言えます。B2は難関大学受験～大学教養レベルの語彙です。B2を終えるのだいたい7,000語弱の語彙力になり、ほぼ一通りのことが英語で出来るようになります。

### ◆ 中高ロゴについて

この辞書では、CEFRランク表示と同時に「中高ロゴ」も設けています。これは、平成28年度版中学校英語教科書、同29年度版高校コミュニケーション英語I教科書、同30年度版高校コミュニケーション英語II教科書 (すべて文科省検定済み) のデータを分析し、複数教科書において一定基準以上出現する高頻度の項目を選出したものです。

およそ  1,200項目、 1,900項目が収められており、これらを合わせた3,100項目は中高での学習語彙の中核を成すと考えられます。

### ◆ 語彙ランクの活用

語彙ランクは「発表語彙 (発信用に活用したい語彙)」と「受容語彙 (受信用に意味がわかればよい語彙)」, そして「覚える必要がなく、必要な時に辞書を引けばいい (=忘れてもいい) 単語」の区別に役立ちます。大きな目標として、Aランクの約2,300語は、使いこなすべき「発表語彙」として身につけましょう。高校卒業時までにあと2,000語程度 (B1ランク) を、意味がわかればよい「受容語彙」として知っておきましょう。

もちろん、基本の基本はフォーカスページで紹介している最重要単語です。これらを要に、語彙ランクで区分された単語を系統的に学習すれば、あなたの語彙力は飛躍的に伸び、骨太の英語力を身につけることができるでしょう。

## まえがき

英語を身につけたいと思いつつも、思うように上達できない。そんなすべての人に『エースクラウン英和辞典 第3版』をお届けします！

英語がなかなか上達しない原因のひとつは、「いちばん重要な基本単語が使えるように訓練されていない」ということです。本辞書はビッグデータ（コーパス）による最重要語の解析を「フォーカスページ」で解説、さらに4技能試験による入試でますます重要になる「発信（話す・書く）力」を意識した「チャンク学習」、新学習指導要領でも中心となる「英語でできること＝CAN-DO」の視点を有機的に連携して、総合的な「4技能のバランス」と「発信力」をつける語彙学習と辞書のあり方を提案します。

初版の刊行以来、英語辞書に新風を吹き込み、多くの方に愛用されてきた『エースクラウン』。第3版でもその特長をさらに強化し、新たな工夫を取り入れています。ポイントを整理してみましょう。

### 1. そのまま使える用例で発信力をアップする「チャンクでおぼえよう！」

フォーカスページの語のうち、すべての一般動詞にチャンク用例のコラムを新設。重要動詞のよく使うフレーズを「チャンク（かたまり）」でおぼえることで、「話す」「書く」英語の発信力を高めます。

### 2. 英語で何ができるのかを意識させる「CAN-DO Tips」

ある英単語や表現を学ぶと、「何ができるようになるのか(=CAN-DO)」を具体的に示すことで、ことばを使いながら身につける感覚を磨き、語彙学習を単なる暗記では終わらせません。

### 3. 和英小辞典に「高校実業科・ICT用語小辞典」「チャンクで英作文」を追加

新指導要領で全体に高度化する高校英語の内容を受けて、和英小辞典に「商業」「工業」「農業」「ICT」といったジャンル別和英を追加、和英小辞典本編と合わせて2万4千項目の充実ぶり。英語の発想力をきたえるコラム「チャンクで英作文」も新設し、4技能入試のライティング対策も万全です。

### 4. イラスト豊富なピクチャーページに新テーマを追加

巻頭カラーページに新たなテーマ「パソコンとタブレットPC」「列車やバスなど」「オリンピックとパラリンピック」を追加。生活語彙をイラストで楽しく学べます。

### 5. 最新の英語教科書から重要語を広くカバー

中学・高校ともに内容が増しつつある最新英語教科書を分析し、新たに「中高ロゴ」を拡充。中学・約1200語、高校・約1900語の学習の指針を示しました。CEFR-Jロゴとの併用で、学ばべき単語の種類や勉強方法をしっかりガイドします。

改訂に当たっては、今回も石井康毅氏と大羽良氏にお世話になりました。三省堂辞書出版部および三省堂印刷、特に編集長の寺本衛氏、編集担当の福本健太郎氏・渡邊佳一氏の献身的なサポートに対して、心から感謝します。

『エースクラウン英和辞典 第3版』は、英語があまり得意ではないというあなたにとって、きっと強力な味方になってくれるでしょう。健闘を祈ります！

a  
b  
c  
d  
e  
f  
g  
h  
i  
j  
k  
l  
m  
n  
o  
p  
q  
r  
s  
t  
u  
v  
w  
x  
y  
z

- は about の目的語; all は強調
- For further **information about** this product, visit our website. この商品についてのもっと詳しい情報は当社ホームページにて
- ② **…ごろに[の]; およそ…で[の]**
- about noon** [4 o'clock] 正午[4時]ごろに
- a man **about sixty** (years old) 60歳ぐらいの人
- ③ (場所)のあたり[まわり]を[に, の]; …のあちこちを[に] (1 この意味ではふつう around を使う)
- He **looked about** him. 彼は自分のまわりを[あたりを見回した]
- ④ (仕事など)に従事している
- What are you **about**? 何をしているのですか

**How [What] about...? …(をして)はどうですか; …についてはどう考えますか** (1 about のあとは名詞か動名詞)

**会話** “How [What] about doing the homework together?” ⇨ [フォーカス] 2 “O.K. Let’s meet in front of the library.” 「いっしょに宿題しない?」「いいよ。図書館の前で会おうよ」

I’m ready to go. **How about** you? ⇨ [フォーカス] 5 私は出かける準備ができました。あなたはどうか?

**What do you think [How do you feel] about...? …をどう思いますか**

- What do you think about this plan? ⇨ [フォーカス] 1 この計画をどう思いますか
- 一 副 ① **だいたい, 約…**, ほぼ, …ごろ (=approximately)
- about fifty** people 約50人の人々
- Can I come to your place **(at) about seven o'clock**? 7時ごろおじゃましていいですか (1 at を省略すると about は前置詞扱いになる ⇨ 副 ②)
- (at) about the same time** ほぼ同じ頃に
- Well, that’s **about** all. えーと、それでほぼ全部です

- It is close to seven. It’s **about** time they came. もうすぐ7時だ。そろそろ彼らが来るころだ (1 time のあとは仮定法なので過去形を使う)
- ② **あたりを[に], まわりを[に]; あちこち**
- walk [run] **about** あたりを歩く[走る], 歩き[走り]回る
- She **looked about**, but there was no one **about**. 彼女はあたりを見回したがまわりにはだれもいなかった
- be about to do** (ちょうど)…しようとしている, (まさに)…するところである (1 be going to do よりさらに近い未来を表す)
- The sun **is about to** set. 太陽が今まさに沈もうとしている
- We **were just about to** leave for dinner when the telephone rang. ちょうど食事に出かけようとしているところへ電話が鳴った

### a·bove A1 副

/əˈbʌv/ アバヴ

共通イメージ (ある場所・基準)よりも上

**意味マップ**

副 ① (場所)の上(の方)に[の]  
② (ある基準)よりも上で[の]  
③ (人)の(能力の)及ばない

副 ① 上(の方)に[の]  
② 前の部分で  
③ (ある基準を)超えて

形 上記の

- 一 副 ① (場所)の上(の方)に[の], …よりも高く; (川のある地点)より上流に[の] (⇨below)
- the mountaintop high **above** the clouds 雲のはるか上の山頂
- fly **just above** the water 水面すれすれを飛ぶ
- She has a small beauty mark **just above** her right eye. 彼女は右目のすぐ上に小さなほくろがある
- The mountain is 2,000 meters **above** sea level. その山は海拔2千メートルだ

A  
B  
C  
D  
E  
F  
G  
H  
I  
J  
K  
L  
M  
N  
O  
P  
Q  
R  
S  
T  
U  
V  
W  
X  
Y  
Z

- a waterfall **above** the bridge その橋の上流の滝 (1 特に基準がない「川の上流に[の]」は up the river)
- 似ている単語**
- …の上に - **above, on, over**
- above** は「接触していない真上か上の方」を表す:  
A plane was flying **above** the clouds. 飛行機が雲の上を飛んでいた
- on** は「接触」を示し、「…の上に」とは限らない:  
a picture **on** the desk [wall, ceiling] 机の上に置かれた[壁にかかった, 天井に貼られた]絵
- Shall I write my address **above or on or below** the line?  
住所は線の上に離して書くのですか, 線にくっつけてですか, それとも線の下に書くのですか (1 below は「…より下に」で above の反対語)
- over** は接触していてもいなくてもよく, 「上におおいかぶさる」状態または「上の方を超えていく動き」を表す:  
a cloth **over** the table 食卓の上にかかったテーブルクロス

- a plane flying **over** the town 町の上空を飛んでいる飛行機
- ② (数・程度などが)(ある基準)よりも上で[の], …を超えて
- He is (a little) **above** fifty. 彼は50歳を(少し)超えています
- Her grades are **well above** (the) average. 彼女の成績は平均よりずっと上です
- ③ (物事が, 人)の(能力の)及ばない; …を超越して; (好ましくない行為など)をしない
- above all** 何よりも(まず), とりわけ (1 文のあとに, … and above all, …と続けて使うことが多い)
- He is strong, brave, and **above all**, honest. 彼は強く, 勇敢で, そして何よりも正直です
- over and above** …に加えて
- 一 副 ① 上(の方)に[の]; (川のある地点より)上流に[の] (⇨below)
- the sky **above** 上の方の空, 上空
- in the room **above** 上(階の)部屋に
- Birds are flying **above**. 鳥が上空を飛んでいる

**above**

共通イメージ (ある場所・基準)よりも上

前 ① 副 ① (…)の上に

the mountaintop high above the clouds

川のある地点より上

前 ① 副 ① (…より)上流に

a waterfall above the bridge

本のある箇所より上

副 ② 前の部分で 形 上記の

the above example

ある尺度上での上

前 ② 副 ③ (…を)超えて

60 above 50

He is above fifty.

# have

A1 動 助 名

田 /həv/ ハヴ, əv アヴ; (強) hæv ハヴ/

 三単現 **has** /həz/ ハズ; (強) hæz ハズ/ 過去・過分 **had** /həd/ ハド; (強) hæd ハド/

 現 分 **having**

共通イメージ

自分の手に  
持っている状態



## 意味マップ

- |   |   |
|---|---|
| 動 ① 持っている<br>② (思い・考えなどを)いだけ<br>③ (仕事などが)ある<br>④ 食べる, 飲む<br>⑤ (経験として)持つ<br>⑥ (…を)する<br>⑦ (人に)…させる<br>⑧ (物を)…させる<br>⑨ …を…にする | ⑩ 子どもを産む<br>⑪ (結果など)をもたらす<br>動 ① もう…してしまった<br>② …したことがある<br>③ ずっと…している<br>④ ずっと…している<br>⑤ …しているであろう<br>名 持てる者, 持っている人 |
|---|---|

## 📖 コーパス この順番でマスター

### haveの重要構文

- |   |   |
|---|---|
| (1) <b>have</b> + 過去分詞<br><b>I have finished my homework.</b><br>宿題をやり終えた | (3) <b>have</b> A (人) <i>do</i> ⇨ 動 ⑦<br><b>I had my son carry the luggage.</b> 息子にかばんを持たせた   |
| (2) <b>have</b> + 名詞<br><b>Have a guess.</b> 当ててみて                        | (4) <b>have</b> A (人) <i>doing</i> ⇨ 動 ⑦<br><b>We have a team of teachers taking care of the children.</b><br>子供たちを世話する先生方のチームがあります |

## 📖 使えるコーパスフレーズ

### have + 名詞

- 1 **have a look** (at ...)  
(…を)見る
- 2 **have a good time**  
楽しい時を過ごす
- 3 **have money** お金がある
- 4 **have a problem**  
問題がある
- 5 **have an idea** 考えがある

### have + 過去分詞

- 6 **have been ...** ずっと…である
  - 7 **have got ...** …を持っている
  - 8 **have seen ...**  
…を見たことがある
  - 9 **have made ...**  
…を作ったことがある
  - 10 **have taken ...**  
…をとったことがある
- 7 9 10 はうしろにくる語によっていろいろな意味になる

## 💬 ネイティブはこういう!

- ◆ **Where have you been?** どこに行っていたの?
- ◆ **If you have any problems, do let me know.**  
何か困ったことがあったら, 教えてください
- ◆ **You'll have a great time.** きっと楽しく過ごせるよ
- ◆ **I have a bad feeling about this.** 何かいやな感じ
- ◆ **Do I have to pay any fees?** 何か料金を払わないといけないの?

## 📖 教科書フレーズ

- ◆ **Have you ever been to Denmark?**  
デンマークに行ったことはありますか
- ◆ **I have to take care of my brother.**  
弟の面倒をみなければなりません
- ◆ **I have no idea when I could finish.**  
いつやり終わられるのかわかりません
- ◆ **I had my sister help me with my homework.**  
私は姉に宿題を手伝ってもらいました
- ◆ **We have known each other since we were little.**  
私たちは幼なじみです
- ◆ **I have never been abroad before.**  
今まで外国に行ったことがありません

take **A1** **中**

/téik **テイク** **動** (三単現 **takes** /téiks/;  
過去 **took** /túk/; 過分 **taken** /téikən/;  
現分 **taking**) **他**  
共通イメージ **持って行く**



## チャンクでおぼえよう！

|              |                          |
|--------------|--------------------------|
| ① 彼を映画に連れて行く | take him to a movie      |
| ② 間違った列車に乗る  | take a wrong train       |
| ③ 熱いお風呂に入る   | take a hot bath          |
| ③ 行動をとる      | take action              |
| ④ 3時間かかる     | take three hours         |
| ⑤ 英語の授業を受ける  | take an English class    |
| ⑦ 勉強に楽しみを見出す | take pleasure in studies |
| ⑫ 写真を撮る      | take photos              |
| ⑮ 薬を飲む       | take medicine            |

① (手に取って)(…に) **持って行く**, **連れて行く** (*to*) (→bring)

- **Take an umbrella with you.** かさを持って行きなさい
- **He takes his dog for a walk every day.** 彼は毎日犬を散歩に連れて行く
- **Daddy will take us to the ball game.** 父がぼくたちを野球の試合に連れて行ってくれる
- **He took me home in his car.** 彼は車で私を家まで送ってくれた
- **Who has taken my bicycle?** だれがぼくの自転車を持って行ったんだ、ぼくの自転車を盗んだのはだれだ
- **We are taking some sandwiches on our picnic.** 私たちはピクニックにサンドイッチを持って行きます

② (交通手段としてとる) **乗る**; …に乗って行く, 用いる; (道・コースを)とって行く

• I always **take a bus to** school. ⇨ **フォーカス** ⑦ 私はいつも学校へバスで行きます (⑦ take は交通手段として利用すること)

**比較** I think we **got on** the wrong bus. 私たちは違うバスに乗ってしまったようだ (⑦ get on [in, into] は「乗り込む」動作を表す)

• Let's **take a taxi to** the station. ⇨ **フォーカス** ⑧ 駅までタクシーに乗ろう

③ (take a + 行動を表す名詞) (口語) (ある行動を) **する**, **とる** (⑦ take 自体にはそれほどはっきりした意味がなく, 次の名詞と同形の動詞とほぼ同じ意味になる; take の代わりに have を用いてもよい)

- **take a walk** 散歩をする, 一歩きする
- **take a rest [break]** 休息をとる
- **take a bath [a shower]** 風呂に入る [シャワーを浴びる]
- **take a drive [a trip]** ドライブ[旅行]をする

• **take a look** (at ...) ⇨ **フォーカス** ⑤ (…を) 見る

• **take action** [measures] 措置をとる  
④ (時間・手間などを) **とる**; とらせる, (…するのに)(時間が) **かかる** (*to do*); (…するのに) **必要とする** (*to do*) (=need)

• **Take your time.** ⇨ **フォーカス** ③ ゆっくり時間をかけてやりなさい

• **Repairs took time to complete.** ⇨ **フォーカス** ③ 修理は時間がかかった

• **take (you) forever** [ages] とんでもなく時間がかかる

• **It took four men to carry the stone.** その石を運ぶのに4人の男が必要だった

• **How long does it take to get to school by bus?** バスで学校へ行くのにどのくらいかかりますか

**文型** **[take A B]** A(人)にB(時間・金など)がかかる

• **The game took us two hours.** その試合に私たちは2時間かかった (←その試合は私たちに2時間とらせた)

⑤ (授業・試験などを) **受ける**; (クラスを)受け持つ; (責任などを)引き受ける, とる

• **take piano lessons** ピアノのレッスンを受ける

unworthy, worthless)

- That book is **worthy to buy**. あの本は買う価値がある
- ② **立派な, 尊敬すべき** (1 名詞の前に用いる) **派生** **worth** 名

## would

/wʊd ウド; (強) wʊdˈ ウド/

(発音) wood と同音) 助

参考> **would** の短縮形

would not → **wouldn't**; I would → **I'd**;  
you would → **you'd**; he would → **he'd**;  
she would → **she'd**; it would → **it'd**;  
we would → **we'd**; they would → **they'd** (1 'd は /d ㄉ/ と発音)

① 《直説法過去・未来》(…する)だろう, …でしょう (1 単純未来); (…する)つもりだ, …しよう (1 意志未来)

- I thought (that) it **would** rain. 私は雨が降るだろうと思った (1 主節の動詞 (thought) が過去なのでそれに合わせて that 以下の(助)動詞も過去の would になる; 「雨が降っただろうと思った」と訳さないこと)

- I said I **would** [I'd] do my best. (=I said, "I will do my best.") 私はベストをつくすつもりだと言った (1 《口語》では I would は I'd と短縮される)

② 《直説法過去・強い意志》**どうしても…しようとした**

- The door **wouldn't** [would not] open. 戸はどうしてもあかなかった

③ 《直説法過去・過去のくり返し・習慣》よく…したものだ ⇨ **used**!

- He **would** wait for her outside the school gate every day. 彼は毎日校門の外で彼女を待っていたものだ

④ 《仮定法》(もし…ならば)…するだろうに, …であろうに, …するのだが (1 本当はできないことを「…するだろう」と、頭の中で想像して言う)

- **If I were rich** [I had a lot of money], I **would** travel around the world. ⇨ **フォーカス** ⑤ もし(ぼくがお金持ち[たくさんお金がある]なら, 世界一周旅行をするのだけだ(実際はお金がないからできない))

**比較** If you are late again, I'll (=I will) be very angry. もしまた遅れたらまじで怒るからね (1 将来のことを仮定する)

- If I had been there, I **would have** struck him down. もし私がそこにいたら彼をなぐり倒していただろう (1 would have done で「…したであろうに」)

⑤ 《弱い仮定法・ていねいな依頼》**文型**

**[Would you do?] …してくださいませんか**, …していただけますか (1 Will you do? よりていねいな言い方)

**CAN-DO Tips** > ていねいに依頼する **Would you…?** という表現を使うと、人に何かをしてもらうよう頼むときにていねいに頼むことができるようになります

- **Would you please help me?** = Help me, **would you** (please)? どうか私を手伝っていただけませんか

**would like** A Aをほしいと思う, Aをいただきたい (1 ていねいな言い方; want を用いるとぶしつけな言い方になることが多い)

**would like to do** …したいと思う, …させてもらいたい (1 want to do よりていねいな言い方)

- I **would like to** read the book. ⇨ **フォーカス** ① ぼくはその本を読みたいのです

• **[CAN-DO Tips 招待する]**

**Would you like to come in?** 中へお入りになりませんか

**would like A to do** Aに…してほしいと思う

**would rather do (than do)** どちらかと言えば(…するより)…したいと思う (1 ていねいな言い方)

- **I'd rather not go.** ⇨ **フォーカス** ③ できれば行きたくないのですが

**Would you like…?** …はいかがですか

**CAN-DO Tips** > 好みをたずねる

**Would you like…?** という表現を使うと、食事などの場面で相手の好みをていねいにたずねることができるようになります